

審査委員一覧



一橋大学
経済研究所教授
北村 行伸



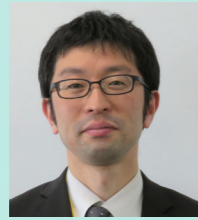
神戸大学大学院
経済学研究科教授
地主 敏樹



岡山大学大学院 社会文化科学研究科特任教授
和歌山県データ活用推進センター顧問
中村 良平



慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授
(独)統計センター特別参与
渡辺 美智子



統計データ活用センター長

谷道 正太郎



文部科学省
初等中等教育局視学官

長尾 篤志



和歌山県企画部長

田嶋 久嗣

第2回データ活用コンペティション協賛企業(五十音順)

伊藤忠テクノソリューションズ(株)、(株)サイバーリンクス、SAS Institute Japan(株)、西日本電信電話(株)、
日本電気(株)、パナソニック(株)、(株)ファミリーマート、楽天(株)、(株)ワイヤ・アンド・ワイヤレス、和歌山県統計協会



プログラム

- 13:00~ 主催者挨拶 仁坂 吉伸(和歌山県知事)
13:05~ 来賓挨拶 千野 雅人(総務省統計局長)
藤山 将材(和歌山県議会議長)
13:15~ 基調講演 佐藤 知成(日本マイクロソフト(株)執行役員 常務 パブリックセクター事業本部長)
「データとAIで実現するデジタル変革」
—休憩10分—
14:10~ 第2回データ活用コンペティション最終審査会
15:40~ 第1回データ活用コンペティション受賞者による記念講演
15:55~ データを活用した公募型研究発表
水内 俊雄(大阪市立大学都市研究プラザ教授)
—休憩15分—
16:40~ 第2回データ活用コンペティション表彰式
17:30 閉 会

お問い合わせ先

和歌山県企画部企画政策局企画総務課(和歌山県データ活用推進センター)

TEL.073-488-2430 FAX.073-488-2432

E-mail.e0201001@pref.wakayama.lg.jp

データ利活用 シンポジウム

2019年1月19日(土)

13:00~17:30

和歌山県民文化会館小ホール

主催
和歌山県



和歌山県PRキャラクター
「きいちゃん」

開催の趣旨と目的

本シンポジウムは、県民のデータ利活用に関する意識の向上やデータ利活用の重要性・有用性を全国に発信することを目的として開催いたします。

来賓プロフィール

総務省統計局長 **千野 雅人** (ちの まさと)



東京大学理学部数学科卒業。昭和59年に総理府に入省。経済産業省や日本学術会議への出向を経て、平成16年以降、総務省統計局統計調査部経済統計課長、同国勢統計課長、統計企画管理官、独立行政法人統計センター理事、総務省統計局統計調査部長等を歴任。平成29年から現職。

和歌山県議会議員 **藤山 将材** (ふじやま まさき)



1975年和歌山県海南市生まれ。海南高校卒業。自由民主党県議団所属。2003年和歌山県議会議員に当選以来、4期連続当選。2018年6月から和歌山県議会議員を務める。

講師プロフィール

日本マイクロソフト株式会社 執行役員 常務
パブリックセクター事業本部長

佐藤 知成 (さとう ともなり)



1963年東京都出身。2018年1月より日本マイクロソフト(株)執行役常務 パブリックセクター事業本部長に就任し、公共部門を統括。デザインジャパン推進活動を立ち上げや公共機関向けクラウド利用促進にむけたプログラムを発表し、デジタルトランスフォーメーションによる社会変革に全力精勤中。

大阪市立大学都市研究プラザ教授

水内 俊雄 (みずうち としお)



1956年和歌山市生まれ。京都大学文学部卒業。九州大学、富山大学を経て1995年より大阪市立大学で教鞭。地理学を専門とし、現在地域連携センター副所長をつとめている。大都市の地域課題分析を主に、新宮市の地域再生や和歌山市の地域史にも取り組んでいる。

第2回データ利活用コンペティション最終審査会 発表者一覧

【高校生の部 高齢者が活躍できる社会づくり】 ■ 学校名・チーム名・提案タイトル



①香川県立観音寺第一高等学校「銭型レボリューション8」
「高齢者 × ファッション=「観コレ」 高齢者の活躍の場を求めて」



②高知県立山田高等学校「土佐の地域課題探究チーム」
高齢者が活躍できる社会づくり～被災地へ高齢者 power を届けよう～



③北海道浦河高等学校「チーム健康ラボ with まちなか元気ステーション」
浦河町民の健康寿命を伸ばすためには～地域住民とともに取り組めること～



④山口県立周防大島高等学校「政策アイデアチーム C」
幼稚園・保育園と高齢者デイサービスセンターとの併設型小学校 ひ孫の小楽校



⑤和歌山県立田辺高等学校「To the Summit」
クマノツーリズム by 翁 and 媼

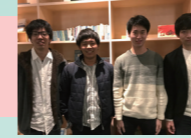
【大学生の部 UI ターン就職・若者の定住促進】 ■ 学校名・チーム名・提案タイトル



①京都大学「見てるか谷沢」
若者のUターン・Iターンに関する計量経済分析



②慶應義塾大学「KEIO pandas」
和歌山県就業者数増加のための県内大学充実化のご提案



③同志社大学「ドリフトウッド」
富山県における就職の魅力度向上と定住化促進計画



④明治大学「コロコロから揚げ」
いよいよ伊予の時代が来た伊予日本一プロジェクト IJU (移住) から定住へ



⑤立教大学「チーム世直し」
フレッシュフルーツで若返り

第1回データ利活用コンペティション受賞者による記念講演



専修大学「Senshu_Bayesians」
第1回データ利活用コンペティション 大学生の部 大賞受賞
提案タイトル「全国市町村データ活用した多変量解析と選考事例モデル都市の分析・参照にもとづく和歌山市の人口増加戦略に関する提案」